

自死者追悼法要

いのちの目 いのちの時間

東京

日時 令和二年十二月一日「いのちの日」

場所 東京都中央区 浄土真宗本願寺派 築地本願寺 蓮華殿

※僧侶のみで営み、オンライン配信します。

大切な人を失った皆様とともに、いのちを見つめる時間。

仏さまの力を借りて、亡き人と語り合ひましょう。

自らいのちを絶ったすべての人たちのために祈りを捧げましょう。

仏さまにおまかせして、安心してお過ごしください。

◆主催者「自死・自殺に向き合う僧侶の会」について

- ・自死問題に関心を持ち、自殺対策に取り組みながら「安心して悩むことのできる、一人ひとりが生き生きと暮らせる社会づくり」を目指す僧侶有志の集まりです。
- ・首都圏の超宗派僧侶がメンバーです。
- ・「自死者追悼法要」「自死の問い・お坊さんとの往復書簡(手紙相談)の他、講演会、「いのちの集い」(分かち合い)などに取り組んでいます。

法要次第

開式

午後四時

一、雅楽

雅楽の調べを仏さまにお供えします。導師・式衆が入堂します

一、挨拶

法要の趣旨説明を兼ね、ご挨拶を申しあげます

一、坐禅

姿勢を正し、呼吸を整え、心を落ち着かせます

一、四奉請

(三頁) 道場を清め、仏さまをお迎えします

一、光明摄取和讃

(三頁) 仏さまがお救い下さるお歌です

一、表白

(四頁) 法要での願いを、仏さまに申し上げます

一、読経

仏さまのお言葉「お経」(五〜七頁) を声にして亡き人に届けます

皆様ご一緒にお唱え下さい

「四誓偈」「般若心経」「自我偈」

一、納経

「写経とメッセージ」を仏さまに供え、亡き方々のお名前を読みあげます

2

一、念仏・称名・宝号・唱題

(八頁)

思いが亡き人に届くよう一心に唱えます

一、総回向偈

(八頁) 皆様の思いを仏さまと亡き人とすべてのいのちにたむけます

一、送仏偈

(九頁) 仏さまを極楽浄土へお送りいたします

一、雅楽

雅楽の調べを仏さまにお供えします。導師が退堂します

法話

黙禱

亡き人を偲び、心安らかなることを祈ります

開式

しぶじよう
四奉請

ほうぜいしほうじらいじとうちようさんからく
奉請十方如来入道場散華樂

ほうぜいせきやじらいじとうちようさんからく
奉請釈迦如来入道場散華樂

ほうぜいたじらいじとうちようさんからく
奉請弥陀如来入道場散華樂

ほうぜいかんにんせいししよたいほさじとうちようさんからく
奉請觀音勢至諸大菩薩入道場散華樂

こうみやうせつしゆわさん
光明攝取和讚

一、人のこの世はながくして かわらぬ春とおもいしに

無常の風はへだてなく はかなき夢となりにけり

二、あつき涙のまごころを みたまの前にささげつつ

ありしあの日のおもいでに おもかげしのぶもかなしけれ

三、されど仏のみ光に 攝取まじりされゆく身にあれば

おもいわずらうこともなく とこしえかけて安からん

南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

追悼法要 表 白 (導師が一人で読み上げます)

つし うやま 謹み敬つて 阿弥陀如来の御前にて申し上げます。

本日ここに 有縁の人々あい集い 恭しく仏前をお飾りし 香華灯燭を供え 音楽を

奏で 謹んでみ教えを拝読して 自死者追悼法要を厳修いたします。

仏さまのお慈悲が普く 世界の隅々まで行き渡り

仏さまの救いがすべてのいのちに届くことをお願い願います。

仏さまの前ではすべてのいのちは平等です。

悲しき時も苦しき時も 何処でも 何時如何なる時にでも そして誰にでも

仏さまのお慈悲は はたらいておられます。 追いつめられ 悩み苦しみ

自ら絶たれたすべてのいのちもまた 仏さまは平等に救って下さいます。

遺された私たちの想いや 言い尽せぬ辛さや悲しみも

仏さまはそのままに受け止めて下さいます。

あなたはひとりではない 決してひとりにさせぬぞと

想って下さる慈悲深い仏さまがいらつしやるのです。

本日ここに「いのちの日 いのちの時間」の法要を勤めるにあたり

私たちは 亡くなった大切な方に想いを馳せ 安らかで穏やかであれと共に願ひ

仏さまの御前において やがて共に出会うご縁を頂けるようにと 祈りを捧げます。

さらには 社会の偏見が解かれ 十方の諸仏三宝の導きにより

亡き人も私たちも 心から安らかな暮らしが拓かれますことを 謹んで念じ上げます。

令和二年 十二月 一日

開經偈

無上甚深微妙法

百千万劫難遭遇

我今見聞得受持

願解如來真實義

無量壽經四誓偈

我建超世願

必至無上道

斯願不滿足

誓不成正覺

我於無量劫

不為大施主

普濟諸貧苦

誓不成正覺

我至成仏道

名聲超十方

究竟靡所聞

誓不成正覺

離欲深正念

淨慧修梵行

志求無上道

為諸天人師

神力演大光

普照無際土

消除三垢冥

廣濟衆厄難

開彼智慧眼

滅此昏盲闇

閉塞諸惡道

通達善趣門

功祚成滿足

威曜朗十方

日月收重暉

天光隱不現

為衆開法蔵

廣施功德宝

常於大衆中

説法獅子吼

供養一切仏

具足衆徳本

願慧悉成満

得為三界雄

如仏無礙智

通達靡不照

願我功慧力

等此最勝尊

斯願若尅果

大千忞感動

虚空諸天人

当雨珍妙華

摩訶般若波羅蜜多心經

観自在菩薩 行深般若波羅蜜多時 照見五蘊皆空

度一切苦厄 舍利子 色不異空 空不異色 色即是空 空即

是色 受想行識亦復如是 舍利子 是諸法空相 不生不

滅 不垢不淨 不增不減 是故空中 無色 無受想行識 無眼

耳鼻舌身意 無色声香味触法 無眼界 乃至無意識界

無無明亦 無無明尽 乃至無老死 亦無老死尽 無

苦集滅道 無智亦無得 以無所得故 菩提薩埵 依般

若波羅蜜多故 心無罣礙 無罣礙故 無有恐怖 遠離一切顛

倒夢想 究竟涅槃 三世諸仏 依般若波羅蜜多故 得阿耨

多羅三藐三菩提 故知般若波羅蜜多 是大神呪 是大明呪 是

無上呪 是無等等呪 能除一切苦 真實不虛 故説般若波羅蜜多

呪 即説呪曰 揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦 菩提薩婆訶

般若心經

妙法蓮華經 如来寿量品第十六

みようほうれんげきようによらいじゆりようほんだいいじゆうるく

がしどあんのん
我此土安穩

てんにんじようじゆうまん
天人常充滿

おんりんしよどうかく
園林諸堂閣

しゆじゆほうしよごん
種種宝莊嚴

ほうじゆたけか
宝樹多華果

しゆじようしよゆうらく
衆生所遊樂

しよてんぎやくてんく
諸天擊天鼓

じようさつしゆぎかく
常作衆妓樂

うまんだらけ
雨曼陀羅華

さんぶつぎゆうだいしゆ
散仏及大衆

がじようどふき
我浄土不毀

にしゆけんしようじん
而衆見燒尽

うふしよくのう
憂怖諸苦惱

によぜしつじゆうまん
如是悉充滿

ぜしよぎいしゆじよう
是諸罪衆生

いあくごういんねん
以惡業因縁

かあそぎこう
過阿僧祇劫

ふもんさんぼうみよう
不聞三宝名

しようしゆくどく
諸有修功德

にゆうわしちじきしや
柔和質直者

そっかいけんがしん
則皆見我身

ざいしにせつぼう
在此而説法

わくじいしししゆ
或時為此衆

せつぶつじゆむりよう
説仏寿無量

くないけんぶつしや
久乃見仏者

いせつぶつなんち
為説仏難値

がちりきによぜ
我智力如是

えこうしよむりよう
慧光照無量

じゆみようむしゆこう
寿命無数劫

くしゆごうしよどく
久修業所得

によどううちしや
汝等有智者

もつとししようぎ
勿於此生疑

どうだんりようようじん
当断令永尽

ぶつごじつぷこ
仏語実不虛

によいぜんほうべん
如医善方便

いじおしこ
為治狂子故

じつぎいにごんし
實在而言死

むのうせつこうもう
無能説虚妄

がやくいせぶ
我亦為世父

くしよくげんしや
救諸苦患者

いほんぶてんどう
為凡夫顛倒

じつぎいにごんめつ
實在而言滅

いじようけんがこ
以常見我故

にしようきようししん
而生驕恣心

ほういつちやくごよく
放逸著五欲

だおあくどうちゆう
墮於惡道中

がじようちしゆじよう
我常常知衆生

ぎようどうふぎようどう
行道不行道

ずいおしよかど
隨応所可度

いせつしゆじゆほう
為説種種法

まいじさせねん
每自作是念

いがりようしゆじよう
以何令衆生

とくにゆうむじようどう
得入無上道

そくじようじゆぶつしん
速成就仏身

もんみょうとくやくげ

聞名得益偈

ごぶつほんがなりき

もんみょうよくおうじょう

其仏本願力

聞名欲往生

かいしつとうひこく

じちふたいてん

皆悉到彼国

自致不退転

ねんぶつ

しやうみやう

ほうごう

しやうだい

念仏・称名・宝号・唱題

(一唱目を僧侶が唱えます。二唱目・三唱目をご唱和ください)

南 無 阿 弥 陀 仏

南 無 釈 迦 牟 尼 仏

南 無 大 師 遍 照 金 剛

南 無 妙 法 蓮 華 經

南 無 大 師 遍 照 金 剛

南 無 妙 法 蓮 華 經

南 無 妙 法 蓮 華 經

南 無 妙 法 蓮 華 經

そうえこうげ

総回向偈

がんにしくどく びようどうせいっさい

願以此功德 平等施一切

どうほつぼだいしん おうじょうあんらつこく

同發菩提心 往生安樂國

そふぶつげ
送仏偈

しょうぶつずいえんげんぼんごく
請仏随縁還本國

がふつじしんようごねん
願仏慈心遙護念

ふさんこうけしんそふぶつ
普散香華心送仏

どうしょうそうかんじんしゅらい
同生相勸尽須来

主催 自死・自殺に向き合う僧侶の会
協力 名古屋 いのちに向き合う宗教者の会

大阪 自死に向き合う関西僧侶の会
広島 自死に向き合う広島僧侶の会
九州 自死に向き合う九州仏教者の会